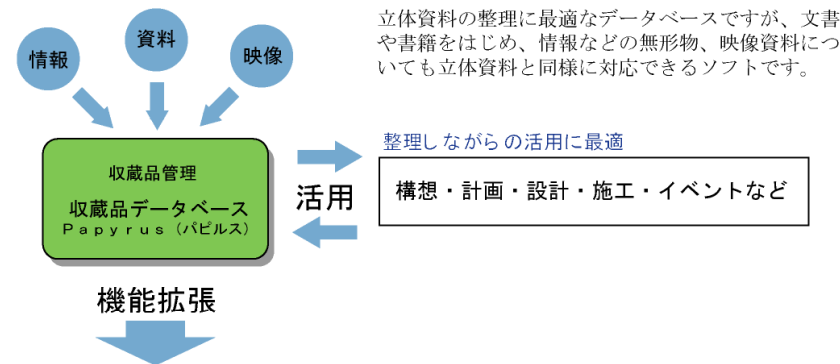


資料・情報の収集、整理、保存、活用

■収藏品データベース「Papyrus」(パピルス)による情報ネットワーク

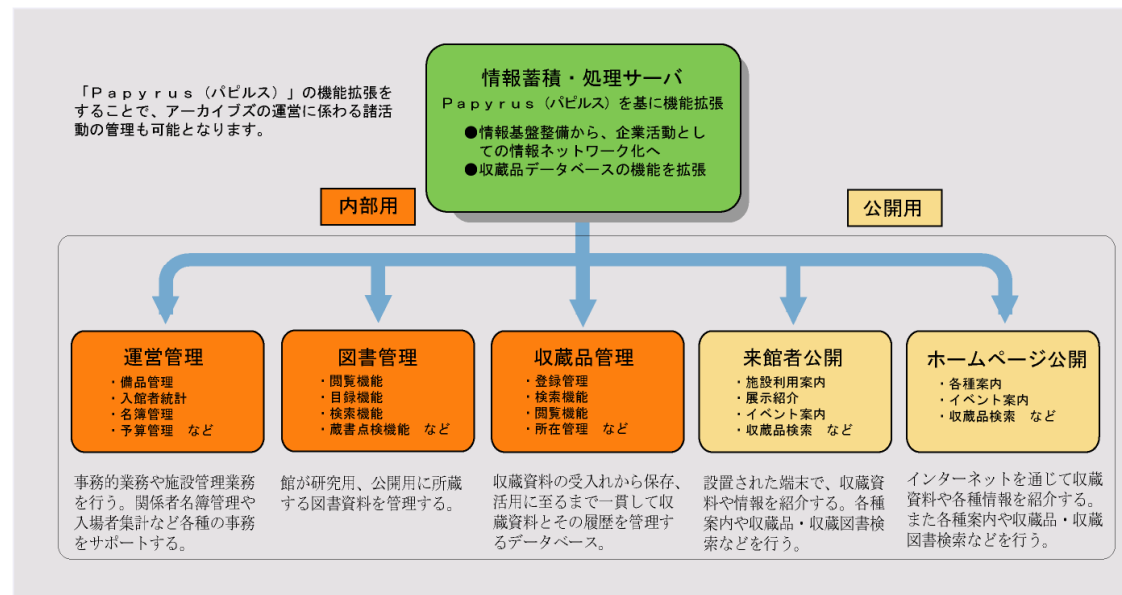
情報検索装置によるデータの活用やインターネットを通じてのホームページでの情報公開、提供に際して、必要不可欠となるのがデジタル化された画像や文章です。これらの画像や文章は、目的に応じて引き出せるよう、体系的に整理されているのが理想といえます。目的に応じて資料・情報を引き出し活用できる状況を手作業でなく、パソコン上で行うことができるのが収藏品データベースです。

収藏品データベースをもとに、既存の情報基盤とのネットワークや新たなデータベースの構築により、内部用・公開用ともに収藏品データベースをより広く活用できる環境がうまれます。



「Papyrus (パピルス)」は資料・情報の収集を始める準備段階から、集められた資料・情報を体系的に整理・管理し、整備終了後も更新作業を継続して行う、といった各段階の変化に応じてソフト内容を改良していくことができます。また、カスタマイズによる機能拡張により、将来へ向けての資料・情報の活用をも視野にいれた拡張性を持った「データベース」として活用することができます。

また、より規模の大きいソフトやネットワークソフトへの、統合もスムーズに行えるソフトです。



(納品24ヶ月前)

12ヶ月前 ~ 6ヶ月前

6ヶ月前

3ヶ月前

調査着手にあたっての
検討会議

情報提供

情報提供

情報提供

データ本入力に関する
検討会議インターフェイスに関する
検討会議

■ 資料調査・データベース製作

